

1 まちづくり活動に関心を持っていない人たちにどんなことを伝えたいか

(1) わがまちの将来に向けての心配

ア 人とのつながりの希薄化

- ・ 地域活動に参加する人が少ない
- ・ 孤立（子育てや高齢者）
- ・ ご近所付き合い
- ・ 一人暮らしになったら
- ・ 他人に興味がない
- ・ 集いの場所の確保が困難
- ・ 大きいグループには行きにくい、参加しづらい
- ・ SNSの使い方、使いこなせない

イ 人口減少

- ・ 子どもが少ない
- ・ 活力低下
- ・ 後継者不足
- ・ 子どもを何よりも大切にした取組を

ウ くらし

- ・ 働く場所の減少
- ・ スーパーがなくなる
- ・ 交通手段の少なさ

エ その他

- ・ モラルの低下
- ・ 情報の伝え方（誰が聞いても分かるように）
- ・ 忙しくて未来を考えられない
- ・ 初動に体力がいる
- ・ 地域課題の明確化（課題を認識していない）
- ・ 課題はデータで示す

(2) 取り組んでみれば・参加してみれば楽しいこと

ア 企画

- ・ 参加（企画）する楽しさを体験してもらおう
- ・ 自分が気になっていることが意外とまちづくりに繋がる
- ・ 参加者に達成する喜びを
- ・ しんどいが、達成感がある

- ・ 楽しさを中心に
- ・ 互いにとって Win-Win な取組を
- ・ 意見が通ったときの喜び
- ・ 「ありがとう」と言われる体験
- ・ 参加者にインセンティブを与える

イ その他

- ・ 市と連携する（例：健幸ポイント）
- ・ 活動拠点の確保
- ・ 地域のイベントを、市全域へ周知
- ・ 普段の生活に還ってくる
- ・ 自分が動けば周りも動く

(3) できそうなこと、上手いやり方

ア 意見

- ・ 若者の意見
- ・ 「こうでなければ」という考えを捨てる
- ・ 違う意見に耳を傾ける、意見を潰さない
- ・ 自分の考えが全てではないと知っておく
- ・ 課題を自分事として考える

イ 組織

- ・ サークルの立上げ
- ・ 知り合いを誘い合う
- ・ 隣保が大切
- ・ ポジティブな人と一緒に
- ・ 活動への簡単な窓口を設ける

ウ 行動

- ・ 声掛け、クチコミ
- ・ 小さなことから取り組んでやってみる
- ・ 抱え込まない、一人でやらない
- ・ 失敗しても良い
- ・ イベント等の流し方
- ・ 先の明るさを読める取組を
- ・ 子どもの参加
- ・ 参加賞を出す
- ・ 種をまく
- ・ 地域のことも考える
- ・ 「遊び」を取り入れる

2 そのようなことを伝えるために、市（行政）にどのようなことをしてほしいか

ア 場づくり

- ・ 他地域の事業等の情報を得られる場所づくり
- ・ 無料の集う場所の提供（会議室など）
- ・ 空き地の使い道

イ イベント

- ・ イベントを行う
- ・ 気づきのセミナー
- ・ 若者が集まるイベント
- ・ 子どもにクラシックを聞かせる
- ・ 他県の人が集まりやすいイベント
- ・ スポーツの大きな大会を行う

ウ 広報

- ・ 各地区の行事を広報してほしい
- ・ 情報の一元化
- ・ 情報発信、地域の情報提供
- ・ 現状の共有、宣伝
- ・ 防災無線の有効利用、他地域のことを知る
- ・ 地域資源の明示
- ・ 地域の行事、1年間の予定表の交換、共有
- ・ データ、資料、アイデアの提供

エ 仲介・財政ほか支援

- ・ 活動に対する理解→他団体とのつながりを紹介→活動状況の紹介
- ・ 定着するまでの財政支援
- ・ 人材募集、人材バンク
- ・ 資金
- ・ 団体同士のマッチング、仲介
- ・ 行事の日程調整
- ・ 補助事業の紹介
- ・ 研修の充実（講師の紹介）
- ・ 予算の確保

オ 子ども・教育

- ・ 子どもたちの憩いの場の提供
- ・ 先生たちの教育

- ・ 授業で議員体験
- ・ 教育の場

カ 経済

- ・ サイバー大学
- ・ 企業誘致
- ・ 若者が働く場所
- ・ 企業が外に出ないように

キ 職員へ

- ・ 職員には播州織を身に着けてほしい
- ・ 職員は西脇市が好きなのか
- ・ イベント等に積極的な参加、協力を
- ・ 若い議員を育てる機関
- ・ 議員定数を減らして報酬アップ